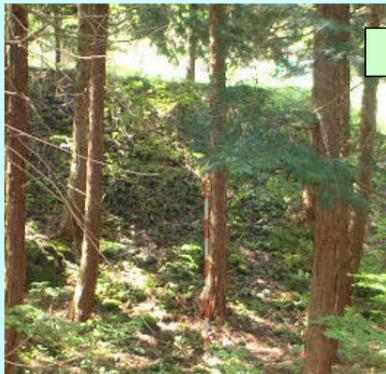




入谷地区で地すべり対策工事を実施中

地すべり地内の水を抜き、地盤がゆるむのを抑える工事と、構造物（アンカー工）を築造してすべりを止める工事を行っています。

安平建設(株)



工事前。雨が降ると地盤がゆるみ、地すべりが起きやすくなっていました。



ボーリングマシン
 斜面からほぼ水平方向に30m程の穴を掘ります。



塩ビパイプ
 ボーリング穴に穴のあいたパイプを入れ、地中の水を抜きます。パイプは放射状に配置します。



パイプの水をまとめる枺を設置します。さらにこの枺から沢に向けて、パイプで排水します。現在1分間に17リットル程の水が出ています。

大鹿村・鹿塩の七不思議

鹿塩温泉に泊まった時のこと。入浴の時、お湯に塩の味がするのに気付き、女将さんに尋ねてみると、鹿塩の七不思議にもあげられている「塩の湯」であることを聞きました。そこで今回は、大鹿村鹿塩の七不思議について調べてみました。

大池の膳碗

大池地籍にある自然池。昔、客寄せのあるとき、その前の夜、大池の端に立って『何人分の膳碗が必要だから貸して下さい。』と頼むと、翌朝池の端に人数分の朱塗りの膳碗が揃えられていたとことです。ある時あやまってお碗を一つ壊してしまい、返すことができずそのままにしておいたところ、その後いくら頼んでも貸してくれなくなりました。

逆さ銀杏

鹿塩字入沢井にある公孫樹の古木。火災・落雷等の災禍にあい、根本の部分が残っているのみです。枝が下方にたれ下がり、逆になっているように見えます。伝説には弘法大師が諸国遍歴の際、突いてきた杖を地面に突き立て、置き忘れたものが根づいたものだといわれています。

あくなしわらび

黒の田、南山の一部に群生するわらび。あくぬきをせずそのまま食べられます。

猫のノミ

この谷のネコにはノミがいません。ここで生まれたネコの子は、どこの土地へもついていっても、そのネコ代はノミがつかないといわれています。

夜泣き松

鹿塩字河合にある松の大木。この松の木の樹枝、あるいは葉は、夜泣きする子どもの枕の下に入れて寝かすと、夜泣きがとまるといわれています。

塩の湯

伝説には建御名方の命の発見とか、弘法大師諸国遍歴の際、この地の人々が塩がなく苦しんでいるのを聞き、これを哀れみ、突いてきた杖の先で地面をつついたところ、そこから塩水が湧き出すようになったと伝えられています。今もお塩の泉は尽きることなく、こんこんと湧き出ています。

八つ鹿

その昔、猟師が群れをなしている八頭の鹿のうち、一頭を仕留めて持ち帰りました。翌日、またその付近で同じ鹿の群れを見つけたところ、昨日一頭獲ったのに八頭になっていました。また一頭仕留めて持ち帰ったのですが、翌日になると、また八頭の群れになっており、何度獲っても次の日には八頭になっていたといわれています。